

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2017』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦　・ p. 22～25→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 38～41→社会福祉士　演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 42～44→精神保健福祉士　演習・実習科目関連締切等

12 / 11 ～ 2 / 4 の追加・変更点

- 1 / 14 「科目修了試験」(函館会場)
 - (変更前) 函館市地域交流まちづくりセンター
 - (変更後) ホテルサンシティー函館

国家試験に向けて

— 経験、背景、衝撃から覚える —

准教授 佐藤 英仁

第30回社会福祉士国家試験、第20回精神保健福祉士国家試験まであと2ヵ月足らずとなりました。皆さん、試験に向けての最後の追い込みはいかがでしょうか。私は社会福祉士・精神保健福祉士の受験経験はありませんが、これまで民間企業の入社試験、公務員試験、大学院の入学試験をそれぞれ受験してきました。また、経済学検定試験や数学検定試験などのマイナーな資格試験も受験してきましたので、その経験から得た勉強法を伝授します。

私の経験上、【暗記】は知識の定着が困難です。「その時は覚えているけど、1ヵ月後には忘れて…」このような経験は多いのではないのでしょうか。知識の定着に有効なのは【暗記】ではなく、【経験】や【背景】、【衝撃】であると考えます。

私の担当科目は「保健医療サービス」と「福祉行財政と福祉計画」です。例えば、皆さんが医療機関で受診した際に、窓口で負担した金額は3割でしたが、残り7割はどうしたのでしょうか。これは「療養の給付」として医療保険が出してくれているのです。そういえば、保険が出してくれているといっても、現金を受け取っているわけではありませんね。したがって、「現金給付」ではなく「現物給付」ということが【経験】から分かるでしょう。ちなみに、医療機関には「病院」と「診療所」がありますが、「病院」は大きな医療機関で「診療所」は小さな医療機関ということも【経験】から何となく分かると思います。少し知識を補足することで、「病院」はベッドが20床以上、「診療所」はベッドが19床以下と簡単に覚えることができます。こうして覚えた知識はなかなか忘れません。

日本の財政についてはいかがでしょうか。地方財政の歳出で最も多いの

は医療や福祉のお金、「民生費」ですが、地方財政を都道府県と市町村で分けてみるとどうでしょうか。確かに市町村は児童福祉に関する事務（児童手当の給付）や生活保護に関する事務をおこなっていることから「民生費」が最も多くなっていますが、都道府県は違います。都道府県は市町村立義務教育諸学校教職員の人件費を負担していることなどにより「教育費」が最も多くなっています。なぜ、その順位になるのか、【背景】を知っていることで理解しやすくなります。なお、そういえば児童手当に関する連絡は市町村から来ていませんでしたか？そういえば小学校・中学校の先生は県内で異動していませんか？この【経験】も重要な知識なのです。

日本の医療従事者は看護師が最も多いと理解している人は多いと思います。次に多い医療従事者は誰でしょうか。【経験】から歯医者さんが多いというイメージがありますので「歯科医師」？実は「医師」が正解です。「医師不足と言われているから少ないと思った！」自分のイメージとは異なる現実があったときの【衝撃】はなかなか忘れないものです。このように知識の定着には【経験】や【背景】、【衝撃】が有効なのです。

そうは言っても【暗記】しなければいけない知識があるのも事実です。これは繰り返して反復するしかありません。医療計画に織り込むべき5疾病5事業を覚えているでしょうか（スクーリング中、何度も確認して申し訳ありませんでした）。忘れてしまった皆さん、さらに何回も反復して確実に覚えましょう。5疾病とは、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患です。5事業とは、救急、災害、へき地、周産期、小児です。

次に、試験の追い込みの際に気をつけていただきたいことを記載します。データ（数値）を問われる科目は必ずテキストの数値ではなく、最新データを確認してください。例えば、第30回社会福祉士国家試験・第20回精神保健福祉士国家試験では平成26年度の国民医療費のデータが出題されます。このデータは平成28年9月28日に厚生労働省から公開されたもので

す。したがって、今年度に改訂されたテキスト以外では間違っただけの数字を誤解してしまうことになります。

また、70歳未満の高額療養費制度における自己負担限度額は平成27年1月からこれまでの3区分から5区分に変更されています。古いテキストを使っている方は注意してください。さらに、今年、平成29年8月から70歳以上の自己負担限度額も変更されています。このような変更はテキストに掲載されていないでしょう。それぞれの分野における最新の制度変更を今一度、ご確認ください。

最後になりましたが、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験を受験する通信教育部の学生の皆さん全員が合格することを心よりお祈り申し上げます。

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉原論（職業指導も含む） 齋藤 征人

- ・社会福祉とは何かを、現代社会の現状、歴史的背景、法規定、VTR、授業資料などから多角的に考えることができました。私見、知見を深めことができました。

●児童（・家庭）福祉論 君島 昌志

- ・DVDは大変わかりやすいものを視聴でき、先生の話と合わせてより深く理解することに役立ちました。また、視聴の際見ることが辛い人は席をはずしてかまわないといった配慮がとても良かったです。
- ・是非1年目に受講すべき科目だと思います。心理学科ですが児童福祉についても勉強したく受講しました。DVDを視聴し具体的な内容が理解できたと感じます。

●社会福祉援助技術論A 川口 正義

- ・知識のないまま仕事で相談援助をしていたが、試行錯誤してきたことは間違っていなかったことを確認できました。それとともにまだまだ足りないものがあることに痛感させられました。
- ・自分の根底にあるものをひたすら自問自答していました。リアルな現状も知ることができ、自分の許容範囲を超えてしまっているのではと怖くなりましたが、これから葛藤しながら自分自身を鍛えながら向き合っていきたいと思いました。

●社会福祉援助技術論B 川口 正義

- ・実践で使える手法など事例を基に進めていただき、私の中での社会福祉士としての目的やこれから仕事で実践できる内容を学べたことが大変良かった。

●医学一般 井出 貴治

- ・医学的なことには興味があったが、専門的なところまでは分からず、授業を受けたことで確かな知識として学ぶことができ楽しい時間でした。
- ・資料がわかりやすく、授業でも図も板書してもらえたのでとても理解しやすかった。

●福祉法学 菅原 好秀

- ・身近な事例を使って説明してくださったので、難しい内容も理解することができて、日常の法律について関心をもてるようになりました。